

日時：10月3日(金) 17:00-18:30

場所：京都大学理学部 6号館 304号室

講演者：安成 哲平（総合地球環境学研究所）

講演題目：

アラスカのアイスコアが語る過去 30 年の
黄砂と成層圏対流圏輸送（STT）の情報

講演要旨：

アイスコアは一般的に数十万年の長期気候変動を議論するような研究分野として捕らえがちなものである。しかしながら、過去数十年であれば様々な気象観測データと比較することが可能であり、大気中の物質を保存しているアイスコアを各気象データと比較することで物質循環のメカニズムの詳細を明らかにする目的でも使うことができる。その知見を元に気象データのない期間へアイスコアのデータを延長すれば、より詳細な大気中の物質循環の議論が可能になると考えられる。これまでの研究では、アラスカのアイスコアから大気ダストと成層圏物質の一つであるトリチウムの解析を行ってきた。これらは明瞭な季節サイクルを示すと共に、黄砂や成層圏対流圏輸送（STT）の情報を含んでいることが気象学的な解析からも明らかとなってきた。また、この両者が春の低気圧活動を通じて経年的につながっていると考えられる結果も得られた。今回の発表は、アイスコアに馴染みの少ない方にアイスコアという研究分野について知っていただく機会になれば幸いと考えている。

問い合わせ先：里村雄彦